



SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ
https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_central/782/



エリア

台中市

テーマ

歴史

産業

スポーツ

自転車文化探索館

実体験を通じて世界の人々に サイクリングを好きになってもらう

自転車文化探索館は、台中サイエンスパーク内、自転車メーカーのジャイアントの本社ビルのすぐ隣にあります。ジャイアント創業者の劉金標氏によって設立され、2020年7月2日にオープンしました。敷地は約一千坪、三階建ての文化探索館があり、総建設費用は5億台湾ドル以上にのぼりました。建物の外観は弧状に、内部は流線型にデザインされ、自転車のスピード感と自由さを表現しています。探索館創設の目的は、見学者が自転車のことをより身近に感じ、わかりやすく理解してもらえる“場所”を作ることです。館内には「序、歴史、科学技術、競技、MTB、個人、環境、未来」の8つの展示ホールが設けられています。

学びのポイント

1.

8つの展示ホールのテーマは？

- 1.序:多様なサイクリング文化。
- 2.歴史:200年以上にわたる自転車の進化の歴史と、過去50年間の台湾の自転車の産業クラスターの形成と進化のプロセス。
- 3.科学:インタラクティブな装置と技術による、自転車の原理体験コーナー。
- 4.競技(ロードバイク):VRとシミュレーターを通じてツール・ド・フランスのレースを体験。
- 5.登山(マウンテンバイク):マウンテンバイクのサイクリングのシミュレーションを体験。記念写真撮影ゾーン設置。QRコードで記念写真の受取可。
- 6.個人:自分に適した自転車の選び方を体験。
- 7.環境(シティバイク):国と企業が協力して、友好的なサイクリングの環境づくりと自転車の関連施設やサービスの構築をめざしていることを知る。たとえば、ジャイアントは地方自治体と協力して、公共自転車システム(YouBike)を構築、運営している。
- 8.未来:自転車の発展と新製品の展示。